

にしっこ 西っ子のみなさんへ 83 3月19日

東京では、早くも桜（ソメイヨシノ）の開花宣言が出されました。西小学校の桜の木を見てみましたがもう少し時間がかかるようです。卒業式には美しい姿を見せてくれるかもしれません。

桜はもう少し先ですが、中庭ではモクレン（木蓮）の花が咲いています。モクレンには紫と白がありますが、中庭のものはハクモクレン（白木蓮）です。



モクレンとよく似た花にコブシ（辛夷）があります。以前、ツバキ（椿）とサザンカ（山茶花）がよく似ていて、造園業をしている専門の方でも見間違えることがあるようなことを書きましたが（59号）、モクレンとコブシも樹の表面の感じや葉の感じは同じで見分けをつけることができません。それは、モクレンとコブシがともにモクレン科モクレン属で、分類上ほぼ同じだからです。

モクレンとコブシは、花が咲いたときにはっきりと見分けることができます。コブシの花は白色なので、紫色の花が咲いていたならそれはモクレンです。

また、モクレンは開花している間は葉がありませんが、コブシは開花時に葉があります。白木蓮は花びらが9枚あるように見えますが、コブシは6枚です。モクレンは上を向いて花が咲きますが、コブシはあちこちに向いて咲き、花びらを広げます。そしてモクレンの花びらはとても肉厚です。

モクレンというのは本来「紫色」のものをいい、原産は中国です。平安時代以前に、薬として日本に渡来しました。ちなみにコブシは日本原産です。

白色のハクモクレンは、紫色のものとは少し性質が異なり、開花する時期も違います。ハクモクレンは江戸時代に渡来したと考えられています。